



# 全難聴便り

発行:事務局 〒162-0066  
東京都新宿区市谷台町 14-5 MSビル市ヶ谷台1F  
編集:全難聴事務局  
電話:03(3225)5600  
FAX:03(3354)0046  
URL:<http://www.zennancho.or.jp>  
E-Mail:[zennacho@zennancho.or.jp](mailto:zennacho@zennancho.or.jp)

## ↑ 「筆談器あります」の英語表記が決まる

Writing board for communication is available upon request  
直訳すると「コミュニケーション用の筆談器を用意していますので、必要な方は申し出てください」の意味になります。また、筆談器に表記する場合は

Please use this writing board for communication となります。

2020のオリパラ開催で海外からも沢山の外国人が来日し公共機関・交通機関・施設等利用が予想されることから、筆談を必要とされる英語圏の方々も同様日本に來られ、少しでも不便を解消する一助になればと全難聴国際部で研究・検討をした結果、上記の英語表記とすることを決定しました。



使用例:筆談器や筆談器等筆談道具が置いてある所に、表示する。

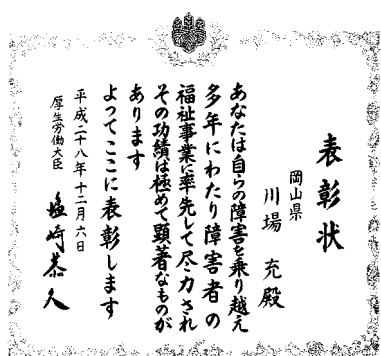
## ↑ テクノエイド協会「シーズ・ニーズマッチング交流会 2016」

～作る人と使う人の交流会～が大阪開催:2017年1月19日、東京開催:2017年2月3日(入場時間10時～16時)に開催されます。この事業は平成28年度障害者自立支援機器等開発促進事業の一環として公益財団法人テクノエイド協会が開催するものです。全難聴は参加団体として協力をいたします。尚特別企画として「障害者自立支援機器の開発を考えるシンポジウム」の中で小川光彦理事が「ユーザーの立場で聞こえなさ・聞きにくさに向き合って」と題した講演があります。詳細はテクノエイド協会HPで。

## ↑ 助成金獲得 「きこえの健康支援センター」へ一歩前進!

12月9日生協助成金贈呈式、続く12月26日全労済助成金贈呈式がありました。助成金獲得により今後の事業推進に補聴医療対策部&国際部が共同して取り組んでいきます。

## ↑ 厚生労働大臣表彰を川場副理事長がいただきました。



川場副理事長におかれてはこの度の受賞誠におめでとうございます。12月6日栄誉の授賞式出席を予定されていましたが11月27日奈良大会の帰路自宅を目前にして事故に遭われ、緊急入院されました。翌7日に厚生労働省に左に掲載した表彰状と記念品を川場様に代わり受領してきました。皇居にての天皇陛下への拝謁を楽しみにされていたことと存じます。25日、1ヶ月弱の入院から退院されたとの連絡を受けました。リハビリに励んでいらっしゃいます。怪我の快復を役職員一同念じております。

## ↑ 12月6日 JDF 全国フォーラムが全社協灘尾ホールにて開催

全国社会福祉協議会・灘尾ホールを会場に開催されました。今回は相模原「やまゆり園」の関係者、神奈川県的事件特別委員会の方々を招聘して事件を振り返りシンポジウムが開催されました。マスコミ報道では知りえないような問題や課題、関係者の証言、家族の訴えなど聞くことができました。午後は国連・女性差別撤廃委員会委員長で弁護士林陽子氏の日頃の活動等をお話いただきました。続くパネルディスカッションではコーディネーターをJDF 幹事会副議長の久松三二氏に務め「権利条約の目指す社会に向けて」をテーマに大胡田誠氏(日本盲人会連合会参与)、齊木志郎氏(富山県障害福祉課長)、平野みどり氏(DPI 日本会議議長)、森本美紀氏(朝日新聞記者)がパネラーを務めました。(新谷、佐野)

## ↑ 12/1 全日ろう連「手話・筆談マーク」の通知に関する見解

全難聴は昭和50年に「耳マーク」が制定されてから、その普及活動を積極的に行ってまいりました。耳マークは「きこえない」ために様々な場で苦渋を味わった難聴者が考案したアイデアであり聞こえの向上・保障を求めていく積極的な生き方の象徴です。(全難聴HPから)そして、「筆談による支援」はこのような「聞こえの向上・保障」のための重要な耳マークメッセージとして非常に多く活用されています。

このような普及活動に対して、全日本ろうあ連盟が類似の趣旨のマークをつくり、独自の普及活動を行うことは、聞こえない人・聞こえにくい人に対する社会の理解・支援に大きな混乱をもたらすものであり、非常に遺憾であります。

「耳マーク」が現在のように広く普及したのは、私たちの先輩はじめ加盟協会の皆さまの努力の表れです。私たちは、そのような「耳マーク」の目的と今までの普及の歴史を改めて振り返り、より一層の「耳マーク」の普及を通じて、中途失聴者・難聴者の社会参加の促進に努めていきたいと考えます。

2016年12月26日 全難聴 理事会

## 📌 IFHOH 国際障害者デー プレスリリース 2016.12.3

1992年より国連によって推進されている国際的な記念日である、国際障害者デーを喜んでお知らせします。今年のテーマは、「私たちが望む将来に向けた17の目標を達成すること」です。

このテーマは、2015年9月、世界のリーダーたちによって（訳注：国連サミットで）採択された2030年を期限とする17の持続可能な開発目標（SDGs）のことを指します。今後15年以上にわたってこれらの目標は、誰一人取り残さない持続可能な社会を実現し、貧困や不平等に終止符を打つために、ユニバーサルな取り組みを全ての国に求めていくものです。

国際難聴者連盟（IFHOH）は、SDGsに関して障害者を含む市民社会運動の一環として他の国際組織と協力してきました。私たちのコミュニティにとって、SDGsの進歩は補聴器、援助技術、字幕、人工内耳、そして同じ仲間や専門家によるサポートサービスにアクセスすることを意味します。

私たちは、もっとも大きな障害者グループの一つです。世界中のおよそ10億人の障害者のうち、3億6000万人以上が難聴です。その結果、難聴者は世界の全障害者の3分の1を占め、もっとも大きな障害分類の一つなのです。

私たちのコミュニティが、政府が2030年までの実施を目指して計画する持続可能な開発目標の一員であることを確実にするために、私たちは政府に要請します。そうすることで、10年前（訳注：2006年12月13日）に採択された障害者権利条約（CRPD）の多くの目標を達成するでしょう。

障害コミュニティのモットーである「誰一人取り残さない」は難聴コミュニティにあてはまります。難聴者は誰一人、取り残してはいけません。この国際障害者デーに際して、全ての難聴者は思い起こされ、参入されるべきなのです。

IFHOHは、加入メンバーと関連団体に協力や情報を交換する場を提供する、国際的で非営利の上部組織です。IFHOH、そして欧州難聴者連盟（EFHOH）は、難聴の問題へのより一層の理解を促し、難聴者のアクセス向上に取り組んでいます。

即時リリース

問い合わせ：ルース・ウォリック博士、IFHOH 理事長

＜翻訳：国際部 山内奈央子＞

日本障害者協議会(JD) 2016年度<連続講座> 開催時間 18:30~20:30  
2017.1.25(水) 講師 芝田 英昭氏 立教大学コミュニティ福祉学部教授  
2.20(月) 講師 服部 万里子氏 日本ケアマネジック外学会副理事長  
3.15(水) パネルディスカッション コーディネーター藤井克徳氏 JD代表  
1回・2回には特別報告「いま、障害者は・・・当事者に学ぶ」があります。  
受講料:1講座につき2,000円(3回連続5,000円) 要約筆記・手話付き  
HP<http://www.jdnet.gr.jp/> から申込ください。



## 📌 理事の動き (12/1~12/28)

- 12月 1日 刈払いに向けた多様な利用者の円滑な移動支援に関する共同研究(小川)
- 12月 2日 聴覚障害者制度改革推進中央本部事務局会議(佐野)
- 12月 2日 聴覚障害者制度改革推進中央本部拡大会議(新谷・佐野)
- 12月 5日 東京国際空港国際線ターミナルビル検証
- 12月 6日 JDF 全国フォーラム (新谷・佐野)
- 12月 6日 厚生労働大臣表彰 授与式、皇居にて天皇陛下拝謁(欠席)
- 12月 7日 事務局会議(新谷・佐野)
- 12月 7日 厚生労働大臣表彰 代理受領(佐野)
- 12月13日 情報コミュニケーション4 団体連絡会 (新谷・佐野)
- 12月15日 日身連臨時評議員会 (新谷)
- 12月15日 全国統一要約筆記者認定事業試験委員会 (新谷・宇田川)
- 12月16日 JIS X 8341-4 改訂原案作成委員会及び分科会
- 12月22日 JDF 幹事会 (新谷)
- 12月23日 全難聴&全要研定期協議会 (新谷・佐野・宇田川)
- 12月23日 全難聴&全要研要約筆記WG 会議 (新谷・宿谷・宇田川)
- 12月26日 全労済助成金贈呈式
- 12月26日 119番通報の多様化に関する検討会(第3回)

## 📌 事務局報告

- 12月 6日 JDF 全国フォーラム
- 12月 7日 事務局会議
- 12月 9日 全国生協連助成金贈呈式
- 12月26日 全労済助成金贈呈式
- 12月28日 機関誌「難聴者の明日」発送
- 12月28日 全難聴便り No.103 発行

《1月予定》

- 年末年始 休業 12月29日~1月5日
- 1月8~9日 要約筆記事業研修会
- 1月10日 JD 新年会
- 1月31日 全難聴便り No.104号発行

第23回全国中途失聴者・難聴者  
福祉大会 in 東京  
2017年11月4日(土)~6日(月)  
国立刈払い記念青少年総合センター  
懇親会: 京王プラザホテル  
テーマ: **東京で見つける  
「新たな自分 つながる心 ひろがる未来」**  
主管:NPO 法人  
東京都中途失聴・難聴者協会  
5つの分科会、2日目にナイトツアー、  
3日目観光というスケジュールです。  
参加の予定を組んでください。

### 全難聴事務局年末年始休業12月29日(木)~1月5日(木)

100号から編集を引き継いで3号めとなりました。いろいろな仕事を兼務しながら編集をしています。慣れないことやパソコンスキルの未熟さもあり便りを受け取られる加盟協会の事務局の皆さんにはご迷惑をお掛けすることも、まだまだあるかと思えます。新年を迎えるにあたって心新たに編集して行きたいと決意しています。何か不都合・不具合の折には忌憚無いご意見と叱咤・激励をください。新年8日には、要約筆記事業研修会でご参加の皆さまとお会いできることを楽しみにしています。副理事長川場充様の面会が叶えば入院先に伺い大臣表彰状、記念品を手渡してまいります。加盟協会・会員の皆さまが健やかに新年を迎えられることを念じております。よいお年をお迎えください。

事務局長 佐野 昇